

2025年度
助産別科
入学者選抜問題
小児看護学

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答										
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2	①	②	③	●	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※各問題に解答の数を示しています。それ以外の答えの数をマークしても正解にはなりません。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

受験番号						氏名

【問題1】 脳・神経系の発達で適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 出生時の脳の重量は 350 ～ 400 g である
2. 出生時の神経細胞は成人の半分の 140 億個である
3. 脳の重量は 5 ～ 6 歳で成人の約 90% の 1,100 ～ 1,300 g になる
4. 脳の重量は生後 1 年で出生時の約 2 倍に、3 歳で約 3 倍になる

【問題2】 乳幼児の言語発達で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 2 歳ごろには二語文を話す
2. 3 歳で絵の名詞を 4 つ指さす
3. 生後 6 か月ごろに初語がみられる
4. 生後 2 ～ 3 か月ごろで喃語が出始める

【問題3】 発達評価の説明について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 田中ビネー知能検査は乳児の知能検査に最適である
2. 発達全体を評価する精神発達検査は知能指数 (IQ) で示される
3. IQ や DQ は 100 点を標準得点として 60 以下で発達の遅れと判断する
4. 発達スクリーニング検査の目的は発達上の遅れやゆがみを見つけることである

【問題4】 A (13 歳女兒) は学校の健康診断後に精密検査を受け I 型糖尿病と診断された。利用できる制度はどれか。1つ選べ。

1. 育成医療
2. 指定難病医療費助成
3. 医療的ケア児支援制度
4. 小児慢性特定疾患医療費助成

【問題5】 脱水について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 血中ケトン体の低下がみられる
2. 軽度の脱水では皮膚をつまむとゆっくり戻る
3. 下痢が続くと代謝性アシドーシスが生じることがある
4. 下痢が続くと代謝性アルカローシスが生じることがある

【問題6】 発熱について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 間欠熱は日内変動が1℃以内で周期性は特でない
2. 稽留熱は持続的に体温が上昇し、日内変動は1℃以上である
3. 弛張熱は1日の体温差が1℃以内であり低いときは平熱である
4. 二峰熱は発熱が数日みられたのちいったん下がり再度上昇して解熱する

【問題7】 幼児期の聴力アセスメントについて適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 発音がおかしくないか
2. 名前を呼ぶと振り向くか
3. 言葉がでるようになったか
4. 成人と同様の聴力検査は3歳以降である

【問題8】 子どものチアノーゼについて適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 乳幼児ではピーナッツや飴等の誤飲も考える
2. 成因により中心性と末梢性のものに分けられる
3. 酸素投与は必須であり適切なカニューレやマスクを選ぶ
4. 毛細血管内に5g/dL以上の脱酸素化ヘモグロビンが存在する

【問題9】 子どもの骨折で成長障害が起こる可能性があるのはどれか。1つ選べ。

1. 若木骨折
2. 分娩骨折
3. 骨端線損傷
4. フォルクマン拘縮

【問題10】 先天性筋性斜頸とその対応について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. ベビーマッサージを指導する
2. 多くの場合1歳までに自然治癒する
3. 患側の胸鎖乳突筋内の腫瘍または策状物を触れる
4. 日常生活で患側と反対側を向かせる工夫を指導する

[問題11] 小児の悪性新生物について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 骨腫瘍や卵巣腫瘍は思春期に多い
2. ダウン症候群ではウィルムス腫瘍が好発する
3. 急性リンパ性白血病の好発年齢は3～4歳である
4. 神経芽腫や腎芽腫のほとんどが5歳未満に発症する

[問題12] 小児喘息の治療・看護の目標として適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. QOLの改善
2. 呼吸機能の正常化
3. 症状のコントロール
4. コンプライアンスの向上

[問題13] 思春期の身体変化の特徴として適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 第二発育急進期といわれる
2. 精通は12歳ごろまでに過半数が経験する
3. 骨端線の閉鎖により長管骨の伸長が停止する
4. タナーは性成熟の進行を5段階であらわした

[問題14] 学童期・思春期の心身の問題について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 10代の人工妊娠中絶率は当該人口千人対6.5人程度である
2. いじめの原因・動機には「からかい」や「はらいせ」などがある
3. 引きこもりとは1年以上自宅にこもって社会参加しないことをいう
4. 飲酒・喫煙は男子より女子が開始後短期間で常用するようになる傾向がある

[問題15] 乳幼児突然死症候群（SIDS）について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. SIDSは生後2～6か月の乳児期に多い
2. SIDSの年間死亡数は150人前後である
3. リスク因子としてうつぶせ寝や母親の飲酒が公表されている
4. 主に3歳未満の乳幼児に突然の死をもたらした症候群である

[問題16] 睡眠について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 乳児期は多相性睡眠である
2. 2歳ごろには昼寝をしなくなる
3. 夜泣きは生後1歳～2歳半ごろまでの幼児に生じやすい
4. 乳児期は中枢神経の成熟に伴ってレム睡眠の割合が増加する

[問題17] 消化器の説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 乳児の便は無臭の黄色い便で細菌はない
2. 腸の長さは新生児期で身長4倍と長い
3. 胃の容量は、生後3か月で300～400mlになる
4. アミラーゼの活性は12～13歳で成人と同じレベルになる

[問題18] 子どもの権利について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 1947（昭和22）年5月5日に「児童憲章」が制定された
2. 「子どもの権利宣言」は法的規制により人権擁護を示した
3. 1994（平成6）年に「子どもの権利に関する条約」が国連総会で採択された
4. 「子どもの権利に関する条約」では子どもが権利行使の主体と位置付けている

[問題19] 永久歯の形成について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 乳幼児期に形成を開始する
2. 第一小臼歯は6～7歳で萌出する
3. 第二大臼歯は7～9歳で萌出する
4. 中切歯は上顎で7～8歳で萌出しはじめる

[問題20] 排泄の自立と世話について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 5歳ごろまでは50%程度に遺尿がみられる
2. 紙を使って排便の後始末ができるのは4歳半ごろである
3. 歩行・言葉・排尿間隔の発達状況を排尿訓練開始の目安にする
4. トイレに連れて行けば1人で排尿するようになるのは2歳すぎごろである

[問題21] 生活習慣の自立について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 4歳では鼻をかむことができる
2. 1歳すぎでは帽子や靴下を自分で脱ぐ
3. 2歳半ごろには親の歯みがきをまねるようになる
4. 3歳ごろでは上着の前後ろを間違えずに着ることができる

[問題22] 予防接種について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. BCGは1～3歳までが接種の対象である
2. 母子感染予防のB型肝炎ワクチンは健康保険適応となる
3. ロタウイルスとポリオのワクチンは経口投与の生ワクチンである
4. DPT-IPVの四種混合にPCV（肺炎球菌）を加え五種混合ワクチンが始まった

[問題23] 指数による発育評価について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. ローレル指数は100以下がやせである
2. カウプ指数の標準の目安は15～19である
3. 学童期の肥満度の判定基準は20%以上である
4. カウプ指数の計算式は $[\text{体重 (g)} \div \text{身長 (cm)}] \times 10$ である

[問題24] 学習障害の特徴でないのはどれか。1つ選べ。

1. 文字と音が結びつかない
2. 計算を習得することが困難である
3. 課題や活動に必要なものを頻回に失くす
4. 読んでいるものの意味を理解することが困難である

[問題25] 急性中耳炎の予防・対応で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 耳垢を毎日除去する
2. 入浴時は耳栓を使用する
3. 鼻をかまないようにする
4. 発熱時は耳漏の有無を確認する

[問題26] 熱性痙攣について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 発生頻度は20%程度である
2. 5%弱がてんかんに移行する
3. きょうだいの発生率は50%である
4. 乳児期に38℃以上の発熱に伴って起きる

[問題27] アナフィラキシーについて適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 症状には蕁麻疹、嘔吐、喘鳴などがある
2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシーがある
3. 原因物質との接触後30分以内に起きることが多い
4. 喘息の発作との違いに迷ったときはエピペンを使用しない

[問題28] I型糖尿と診断された中学生への生活指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 食事制限
2. 血糖測定
3. 運動制限
4. 高血糖症状

[問題29] 流行性耳下腺炎の説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 伝音性難聴が生じることがある
2. 予防接種は任意で生ワクチンを接種する
3. 思春期以降の男性の罹患では5%に精巣炎がみられる
4. 出席停止期間は発熱後5日を経過し全身状態が良好になるまでである

[問題30] 学校保健安全法規則による定期健康診断について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 毎学年5月末日までに行う
2. 寄生虫卵の検査が行われている
3. 座高の検査を廃止し運動器の検査が導入された
4. 異常が疑われた場合は保護者に2か月以内に治療勧告する

[問題31] 小・中・高校生のインターネット等の活用について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 中学生の約7割がスマートフォンを所有している
2. 小学生にはフィルタリング機能の導入が義務付けられている
3. 小学生から高校生までの9割以上がインターネットを活用している
4. インターネットの長時間使用は視力低下や睡眠不足が問題視されている

[問題32] 学童期を取り巻く環境について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 異年齢集団で遊ぶ体験がいじめにつながる
2. ギャングエイジとは同年齢、異性の友好関係をいう
3. 学童保育は放課後や学校休業日の学童の生活の場として充実している
4. 学業成績の偏重による遊び時間の減少や子どもの居場所の確保が課題である

[問題33] 小児期メタボリックシンドロームの診断基準について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 6～15歳に適用する
2. 空腹時血糖は100 mg / dL以上とする
3. ウエスト周囲径は小学生が75 cm以上中学生80 cm以上とする
4. 収縮期血圧130 mmHg以上で拡張期血圧は80 mmHg以上とする

[問題34] 子どもの死の概念発達について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 時間の概念は死の概念発達の構成要素である
2. 2歳ごろでは周囲の雰囲気や親の感情を感じとる
3. 幼児期では「動く」「動かない」で「死」を理解する
4. 9～10歳ごろには死の普遍性や非可逆性を理解するようになる

[問題35] 特別支援教育について適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 医療的ケア児は全国で2万人程度いる
2. 医療的ケア児は小中学校に通学することはできない
3. 1947年「学校教育法」で盲学校・聾学校・養護学校が規定された
4. 2007年盲学校・聾学校・養護学校は「特別支援学校」に統合された

[問題36] 乳歯について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 生後3～5か月で歯肉から萌出しはじめる
2. 満2歳ごろまでに上下の歯がはえそろう
3. 小学校3年生（9歳）ごろから次第に抜ける
4. 第三大臼歯は思春期以後にはえる
5. 乳歯の数ははえそろうと20本ある

[問題37] 新生児の生理について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 新生児の腎臓の糸球体の濾過率は成人の60%である
2. 出生直後の赤血球数は生後1歳の値より多い
3. 新生児の水分量は体重の60%以上である
4. 尿細管の機能は成人とほぼ同様である
5. 出生時の凝固系因子は成人より少ない

[問題38] 子どもの成熟で最も遅く発達するのはどれか。1つ選べ。

1. 神経系
2. 生殖器系
3. リンパ系
4. 内分泌器系

[問題39] 幼児期の食事で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. おやつ（間食）は嗜好品である
2. 献立は子どもの嗜好に合わせる
3. 偏食がある場合は早期に矯正を行う
4. 1回の食事は20～30分程度とする

【問題40】 Aちゃんは、もうすぐ2歳の誕生日を迎える。Aちゃんが最近獲得したと考えられるのはどれか。1つ選べ。

1. 片足立ち3秒
2. 「おもちゃがないの」と言う
3. 「ねんね」などの1語文を言う
4. 「おちゃ、ちょうだい」などの2語文を言う

【問題41】 子どものバイタルサインについて正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 呼吸音は左右交互に聴取する
2. 原則、最初に測定するのは体温である
3. 呼吸周期に関連した心拍リズムの不整は異常と判断する
4. 血圧測定時は上腕の1/3を覆う幅のマンシエットを使用する

【問題42】 若年性突発性関節炎の「関節型」で入院している子どもへの対応で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 関節痛がないときに関節可動域訓練を行う
2. 薬物療法として、大量のステロイド剤を投与する
3. 朝のこわばりに対して、間接部位に冷湿布を塗布する
4. Volkmann〈フォルクマン〉拘縮に注意して観察を行う

次の文を読み、[問題 43] ～ [問題 45] に答えなさい。

Bちゃん（生後6日、男児、第1子）は、在胎39週で出生した。出生時の体重は2,840gである。妊娠20週のとくに超音波検査で口唇裂の疑いがあるといわれており、出生時に左側完全口唇裂と診断された。母親は直接授乳をしたり、搾乳した母乳を哺乳瓶で与えたりしているが、授乳に慣れないと悩んでいる。Bちゃんの経過は順調であり、明日退院し、3か月後に手術のため再入院する予定である。

[問題43] Bちゃんの母親への授乳指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 専門の哺乳用品を紹介する
2. 直接母乳を与えるよりも、哺乳瓶での哺乳を勧める
3. 1回の哺乳量を多くして、1日の哺乳回数を少なくする
4. できるだけ寝かせた姿勢になるように抱っこして授乳する

[問題44] Bちゃんは生後3か月となり、昨日、口唇形成術の目的で入院した。術後の看護として「肘関節抑制帯装着」を計画した。この計画の根拠として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. ストレス緩和のため
2. 創部の保護と安静のため
3. 呼吸器合併症の予防のため
4. ベッドからの転落予防のため

[問題45] Bちゃんは生後9か月となり、定期外来受診した。Bちゃんの母親は、「『赤ちゃんが奇形』といわれて頭が真っ白になり、出産後は育児ができるかとても不安でした。でも、手術後、順調に育って、生まれたことがとてもうれしいです」と話している。

この母親にみられる現在の反応は、ドローター・D.らの『先天奇形をもつ子どもの誕生に対する正常な親の反応』のどれに該当するか。1つ選べ。

1. 再起
2. 否認
3. 適応
4. ショック

